

# 続・学びの実感

## 流れる水のはたらき

◇今年度の古城小学校の《算数の研究の視点》を理科の授業で実践しました。学習教室が変わると子供たちはハイテンションになって落ち着かなくなる場合が多いようですが、声の強弱で考えるポイントをアピールしたり、これから取り組むことを分かりやすく絵で表現したりするなど、子供たちを飽きさせない導入がすばらしかったと思います。授業前の音楽も心穏やかになりました。

### ◆事前検討会から…

※表で確認。

- 自分の考え（結果）を表にまとめることを目標とする。言葉でまとめる（表現する）ことを苦手とする子もいるので。
- 個人差もあるのでパターン化するとやりやすくなる。
- 発表パターンから学ぶこともいいので、まねでも良いとする。

※自力解決は短時間で。

- 考えの交流時に確認できれば良い。「そうそう私の言いたかったことはそれ！」ができれば。
- まとめ方を子供たち同士で認め合えるようにしたい。
- グループ内で確認することで理解が深まるようにする。

### ◆事後検討会から…

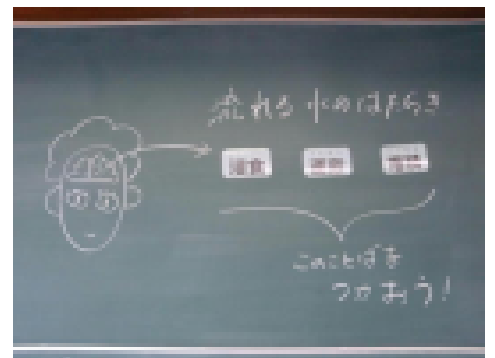
《自評》

◎砂野先生…

- 内容的に欲張ってしまった。時間内にまとめて書いて発表するまでは難しかった。
- 子供たちはよく書いていた。伝え合いという点に関しても、子供たちなりに理科の用語を使いながら頑張っていた。



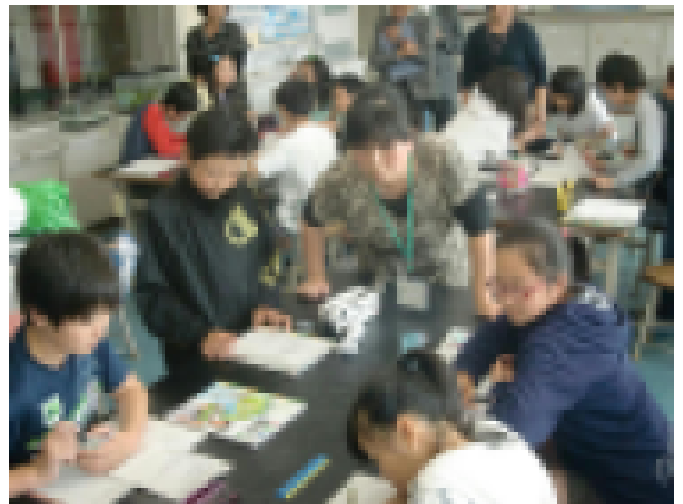
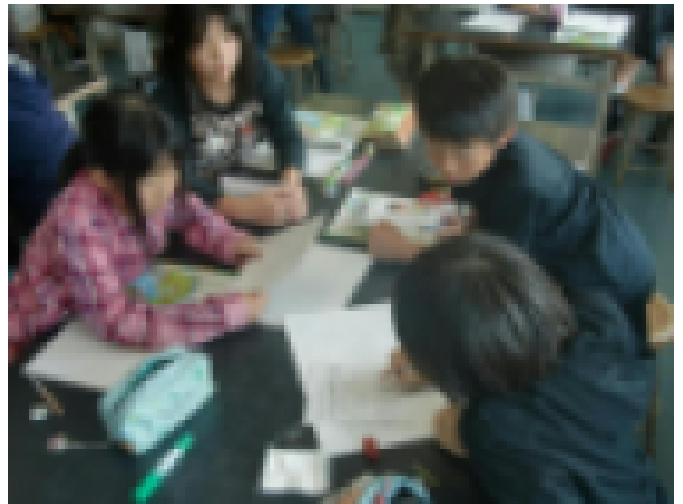
- 時間的にも設定した課題的にも難しかった。
- 教科書では、水の流れの「傾き」と「水量」だけしかまとめていないが、今回の授業では「傾き」と「流れのカーブ」を扱い2次元表にした。子供たちにとっては表を読み取っていただくだけで一つのハードルだったようだ。別々の表にしたり、まとめ方を変えたりするともっとスムーズに取り組めたかもしれない。
- 指導助言では、表をグループのメンバーだけで時間内に完成させるのが難しかったので、グループごとに役割を分担してまとめさせても良かったと指導をいただいた。
- 二次元表の中で傾きを「急」、「ゆるやか」



という言葉でまとめていたが、理科の用語的には傾きは「大きい」「小さい」。

### 《参観者から》

- 子供たちが一生懸命取り組んでいた。
- 個性的な学級（子供たち）をよくまとめていたと思います。
- 既習事項を生かすために3つの言葉を確認したのが良かった。
- 時間が無い中で、表の①と④だけにしぼってまとめ、子供たちにとっても分かりやすかったと感じた。
- カーブを扱うことが自然界での様子につながっていくので、子供たちの理解は深まると感じる。
- どのグループも頑張っていた。言葉を使いこなしてまとめようとする姿勢が見られたことが良かった。
- 子供たちの取って適度な難しさは刺激的で良かった。
- 理科はいかに生活に結びつけるかが大切かもしれませんね。難しいですが、意識する、意識させることが大切ではないでしょうか。



### ◆課題のリレー

（有効…○ 課題…●）

- 導入時に理科の科学的用語をカードや図を使って提示したことで、子供たちが意識的に用語を使うようになった。
- グループでまとめさせる時の課題の提示の仕方や条件の出し方を工夫する。（言葉の使い方、条件のそろえ方など）

次回の研究授業は…

10月23日（木）2時間目 なかよし学級1組 庄子文恵先生

「買い物をしよう（仮）」

できる範囲で話し合いや授業を参観しましょう。

乱筆乱文ですみません。修行していきます。m(.\_.)m

低学年・中学年・高学年

成 果	
課 題	

育てたい力

--